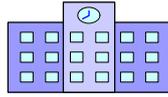


学校だより第4号 令和元年7月1日(月)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



さいたま市立木崎小学校

— 児童が目を輝かせて、  
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [kizaki-e@saitama-city.ed.jp](mailto:kizaki-e@saitama-city.ed.jp)



## グローバル社会で活躍できる人を育てるために

校長 豊島 登

昨年の今頃は、例年になく早い梅雨明けで、熱中症対策に追われていた記憶があります。今年は本来の梅雨らしいと言えばそうなのですが、じめじめとすっきりしない天候が続いています。暑さに向かっていく時季なので、体力的にはつらいことも多いですが、せめて気持ちだけは明るく前向きにいきたいものです。私も、朝のあいさつは、いつにも増して、“さわやか笑顔”と“元気な声”を心がけたいと思います。

さて、今年の4月に、全国英語教育実施状況調査の結果が公表され、さいたま市の中学生が“全国トップ”というニュースがありました。英語が苦手な私は胸張って言いにくいのですが、それだけのことを小学校から積み上げていることは確かです。

さいたま市では、全国に先駆けて「グローバル・スタディ(以下、G・S)」を実施しており、すでに来年度から全面実施予定の新学習指導要領の授業時間数をこなしています。また、木崎小では今年度よりG・S専科教員が配置され、ネイティブである2人のALTとともに、より充実した英語学習を行っています。

先日私が参観した5年生の授業も、終始楽しい雰囲気でも盛り上がっていました。はじめに、英語でのあいさつをやりとりして、今日の日付、季節、曜日、天気などを確認します。これはどの学年でも行っていますが、高学年では子どもが順番に進行役を務めていました。それから英語の歌を歌ったりして、ウォームアップ終了。本時の学習内容とゴール(目標)を確認します。ちなみに、この時間は、Do you want to play ~? (~をして遊びたいか)という表現を使って、「積極的に友達とコミュニケーションする」ということでした。そして、いよいよアクティビティ、本題の活動に入ります。

「Let's play ジェスチャーゲーム!」: 10種類ほどの遊びの中から、グループで1つ決めて、それをジェスチャーで表現する。見ていた側は、Do you want to play ~? を使って何の遊びか当てる。

「Let's make "Friend Trees"!」(友達の木をつくろう): 自分が遊びたいものを4つ選び、Do you want to play ~? を使って会話をする。相手が Yes I do. と答えたら、ワークシートの木の実に色を塗る。

どちらの活動も、説明するだけでなく、どのようにやるのかをモデルとして示すところがポイントです。全部英語で示されますが、それをなぞればよいのだということがわかると、子どもたちは積極的に友達とコミュニケーションを図っていました。

こうした日々の実践をとおして、コミュニケーションツールとしての英語を自在に操る力を身に付けさせていくとともに、異文化理解や日本のよさを発信する力も育てていきたいと思えます。